

西日本高速道路株式会社中国支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和5年8月4日(金) 14:00~17:00 中国支社3階会議室	
出席委員 (五十音順・敬称略)	<ul style="list-style-type: none"> ・石井義裕(広島工業大学教授) ・金 徳謙(広島修道大学教授) ・車元 晋(中根・車元法律事務所弁護士)・田村耕一(広島大学大学院教授) ・日野真裕美(山下・長井法律事務所弁護士)・諸泉利嗣(岡山大学大学院教授) 	
審議対象期間	令和4年10月1日~令和5年3月31日	
抽出件数/対象件数	6件/1,464件	件名等
工 事	一般競争入札	1件/6件 ・広島呉道路 吉浦トンネル工事
	条件付 一般競争入札	2件/34件 ・令和4年度 中国自動車道(特定更新等)千代田高速道路事務所管内構造物補修工事 ・令和4年度 米子自動車道 蒜山IC~江府IC間立入防止柵改良工事
	指名競争入札	0件/0件 _____
	随意契約	1件/7件 ・中国自動車道(特定更新等)徳地IC~美祢西IC間盛土補強工事(その2)
	調査等	1件/44件 ・三次高速道路事務所管内 橋梁耐震補強設計業務Ⅲ(その1)
維持管理役務及び 物品・役務	1件/38件 ・令和4年度 広島高速道路事務所奥屋PA冬用タイヤチェック業務	
少額契約	0件/1,335件	_____

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
入札監視事務局からの報告 ・特になし	

<p>入札参加資格停止等運用状況の報告 一次苦情及び一次説明処理状況の報告 発注工事等の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価しない技術提案の説明要求について、回答内容は第三者に意見照会しているのか。 ・単価表疑義について、ヒアリングは書面照会か、それとも直接対面で行っているのか。また同じソフトを使用した場合に、同じ値になることをどのように確認しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは一次苦情として社内で確認・審議して回答しております。その回答内容に対して再度苦情があった場合は第三者機関である本委員会に内容審議をお願いすることとしております。 ・入札者の受け答えの様子からも公正な入札がなされているか否かの判断材料になると考えられますので、ヒアリング対象者と対面でのヒアリングを実施しています。同じソフトが弊社にはございませんので、各対象者に入力した数値の根拠、入力パラメータ、計算式の内容、ソフトによらない項目については、参考見積先が同じであったことや国等の公表されている基準を使用していることを確認しております。
<p>抽出事案の審議</p> <p>広島呉道路 吉浦トンネル工事 (一般競争入札:総合評価落札方式(施工計画提案型))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術評価基準について、上限は1提案としているが各者が複数の技術提案をしているが問題ないのか。 ・技術評価基準について、評価しないとした者は複数提案を挙げているが評価しない提案が含まれていることから全体として評価していないのか。 ・最も高い技術評価点が複数者の場合に付与される付与点の判定基準は明らかなのか。 ・判定基準を入札参加者は知っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各者から複数提案がまとめて提出されることもありますが、その場合は最も評価の低い提案で評価しています。また、複数の提案の組み合わせより一つの提案と評価できるものについては1提案として評価しております。 ・ご推察の通りです。 ・付与点については評価結果、質的内容が最も優れているものに付与するとしており、それぞれの項目で最も優れているものを1位付けし、その数が多かった者を選定しております。 ・入札公告時点で付与点審査基準を明らかにするようにはしております。

<p>令和4年度 中国自動車道（特定更新等）千代田高速道路事務所管内構造物補修工事 （条件付一般競争入札：総合評価落札方式（施工能力評価型））</p> <ul style="list-style-type: none">・技術者の配置ができないことで入札辞退する者が多いが、そのことが分かっているがなぜ入札に参加する者がいるのか。・入札参加申請をした者が辞退した場合、その後の入札に不利益になることはないのか。	<ul style="list-style-type: none">・入札参加資格申請書提出時点では技術者を確保していたが、他機関の工事を先に受注した場合はその確保していた技術者をその工事に配置してしまうので、当該工事に配置できなくなり辞退するケースがあります。・入札参加者は、入札までであればいつでも辞退は可能であり、その後の他の手続きにおいても不利益になることはありません。
<p>令和4年度 米子自動車道 蒜山IC～江府IC間立入防止柵改良工事 （条件付一般競争入札（指名併用型）：価格落札方式）</p> <ul style="list-style-type: none">・本件は指名併用制度を採用しているが、応札9者の公募と指名の内訳は。また落札者はどちらか。	<ul style="list-style-type: none">・公募が5者、指名が4者で、落札者は公募者です。

中国自動車道（特定更新等）徳地 I C～美祢西 I C
間盛土補強工事（その 2）

（随意契約：特命契約）

・継続契約方式について、（その 1）工事で競争入札にて業者を決定し、（その 2）及び（その 3）は同一者に継続して特命随意契約するという認識で間違いないか。

・業績評価は社内だけの評価なのか、それとも外部機関の関与もあるのか。評価によって継続した随意契約となるのであれば、その評価が第三者から見ても適正であると判断されることが必要ではないか。

・ご推察のとおりです。（その 1）の入札公告にて後発工事が存在することを公表しており、（その 1）で業績評価を実施し、継続が妥当と認めれば（その 2）の契約を随意契約にて実施するものです。

・業績評価は社内にて実施しております。
なお、弊社の評価内容などに対して、受注者から再説明又は再苦情などの申し立てがあった場合は、最終的には当委員会などの第三者で審議して頂くことになると思います。

三次高速道路事務所管内 橋梁耐震補強設計業務
Ⅲ（その１）

（調査等：公募型プロポーザル方式：価格落札方式）

・技術評価基準について、「業務実施方針及び手順（提案内容の評価）」や「業務への取り組み姿勢（ヒアリング）」の判断基準は定量的に定めているのか、それとも委員会の合議や各委員の採点などを採用しているのか。

・ヒアリングは誰がどのように行うのか。

・技術評価の「一般的な記載」とはどのような意味か。
・当初契約後の後続業務を随意契約で行う場合に中間評価はあるのか。

・入札参加者の会社が保有する技術者の人数について評価基準はあるのか。

・評価指標をあらかじめ定量的に定め、指標に応じて評価を設定しております。指標が適正であるかは技術審査委員会にて審査しております。

・ヒアリングは予め聞き取り内容を決めた上で、技術審査担当部長及び施行担当部長並びに施工担当課長が面談方式により実施しております。

・提案内容に特筆すべき点がなかったという意味です。
・評価ではなく、随意契約締結前に技術審査会及び競争参加資格等審査委員会にて妥当性を審査します。

・当業務に従事する者の資格の有無のみを評価するので、入札参加者の会社が保有する技術者の人数は問いません。

令和4年度 広島高速道路事務所奥屋PA冬用タイヤ
チェック業務

(物品・役務：条件付一般競争入札：価格落札方式)

・入札者が1者だったが、当該業務を営む者が少ないのか。

・24時間業務であるが、現場責任者は同一人物でなくともよいのか。

・条件緩和などで、入札者を増やすことはできないのか。

・24時間拘束で、降雪がなくとも人員を現場配置しなければならないのか。

・冬用タイヤチェック業務は、有事の際に責任を問われると思いき敬遠する者もいるのではないか。責任の所在について契約上定めているのか。

・当該業務を営む者は全国に7,000者以上存在し、会社としても多数入札いただきたいことから、参加資格に地理的条件を設定せず広く公募しましたが、年末年始を挟んだ業務ということで人手を確保できなかったことが入札参加者の少ない原因ではないかと考えております。

・ご推察の通りです。

・条件緩和もできなくはないですが、最悪事故や通行止めに直結する業務なので、品質保持のため一定の基準は必要と考えますが、そこは担保しつつ、既受注者にどのような条件であれば応札し易いかなどのヒアリングを実施し、検討してまいります。

・ご推察の通りです。

・契約書に責任の所在などを明確に定めてはいません。引き続き応札者増加のための対策を検討してまいります。